

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3043783号

(45) 発行日 平成 9 年(1997)11月28日

(24) 登録日 平成 9 年(1997) 9 月10日

(51) Int. Cl. <sup>6</sup>  
G03B 27/52  
17/53  
H04N 5/265  
5/76  
7/18

識別記号

F I

G03B 27/52  
17/53  
H04N 5/265  
5/76  
7/18

A

E

U

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 実願平9-4364

(22) 出願日 平成 9 年(1997) 5 月27日

(73) 実用新案権者 396005656

株式会社エス・アイ・シー

東京都豊島区池袋 2 丁目60番 6 -907号

(72) 考案者 塩谷 慶一

東京都豊島区池袋 2 -60- 6 グランドメゾ  
ン一番館1011号 株式会社エス・アイ・シ  
ー内

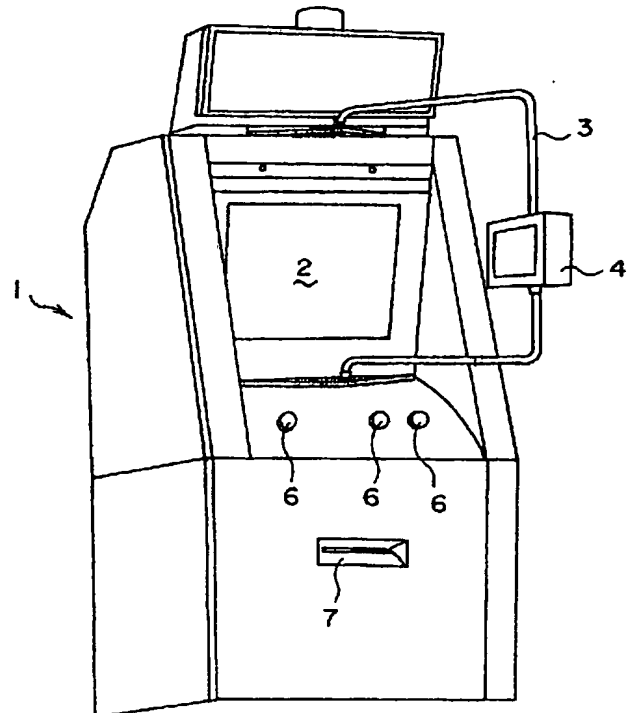
(74) 代理人 弁理士 三澤 正義

(54) 【考案の名称】 シール印刷用撮影装置

(57) 【要約】

【課題】 横向きの顔を撮影したい場合であっても、横目で正面モニタを確認することなく、どのような背景イメージであったとしても自身の正面以外の横を向いたポーズとのマッチングを直視して確認することができ、しかも、グループ撮影などで互いに向かい合った撮影や、選択した背景イメージとのマッチング撮影を正確にできるなど種々の好みのポーズの撮影が可能となり、撮影姿勢のバリエーションを大幅に増し得るようにすることを目的とする。

【解決手段】 被写体 5 を撮影するカメラと、任意に選択された登録背景イメージと被写体 5 となる撮影像との合成映像を所定のフレーム枠内に表示する正面モニタ 2 と、合成映像をシールに印刷するプリンタを備えたシール印刷用撮影装置 1 において、前記正面モニタ 2 の近傍域に被写体 5 の側面側に向く補助モニタ 4 を設け、該補助モニタ 4 を、前記正面モニタ 2 に表示された合成映像を表示せしめて被写体 5 の横姿勢からの姿勢確認が可能な構成とする。



1

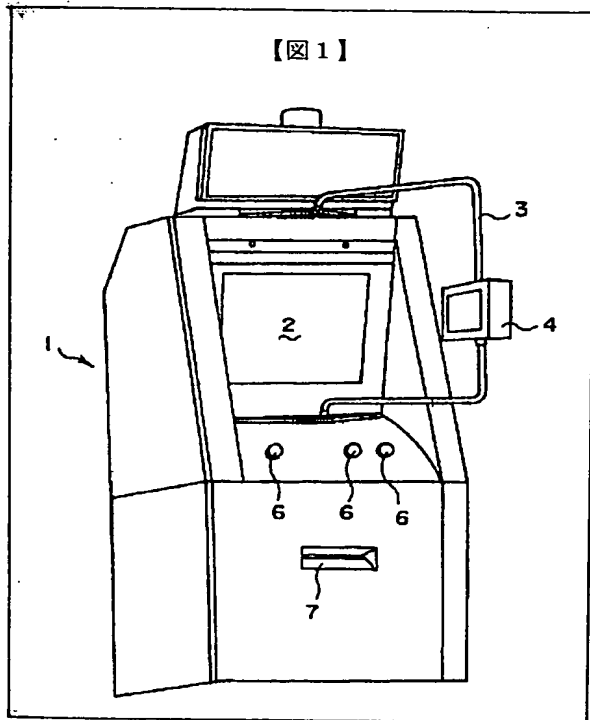
## 【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 被写体を撮影するカメラと、任意に選択された登録背景イメージと被写体となる撮影像との合成映像を所定のフレーム枠内に表示する正面モニタと、合成映像をシールに印刷するプリンタを備えたシール印刷用撮影装置において、前記正面モニタの近傍域に被写体の側面側に向く補助モニタを設け、該補助モニタを、前記正面モニタに表示された合成映像を表示せしめて被写体の横姿勢からの姿勢確認を可能に構成したことを特徴とするシール印刷用撮影装置。

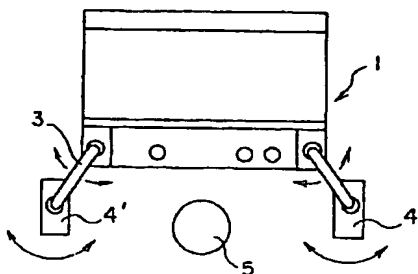
【請求項 2】 前記補助モニタを、左右両側に配設したことを特徴とする請求項 1 に記載のシール印刷用撮影装置。

【請求項 3】 前記補助モニタを、被写体の右側と左側との横姿勢変更に対応すべく移動可能に構成したことを特徴とする請求項 1 に記載のシール印刷用撮影装置。

【請求項 4】 前記補助モニタは、水平方向若しくは垂直方向に角度調整可能に構成してあることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のシール印刷用撮影装置。



【図 3】



2

【請求項 5】 前記補助モニタは、装置筐体内に收容されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のシール印刷用撮影装置。

## 【図面の簡単な説明】

【図 1】 シール印刷用撮影装置の全体斜視図

【図 2】 シール印刷用撮影装置の上面図

【図 3】 第 2 の実施の形態に係るシール印刷用撮影装置の上面図

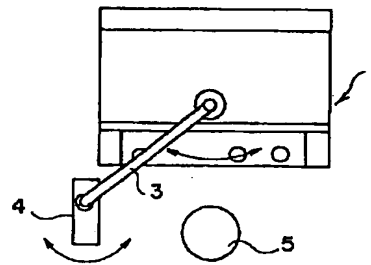
【図 4】 シール印刷用撮影装置の構成を示すブロック図

10 【図 5】 本考案の他の実施の形態に係るシール印刷用撮影装置の上面図

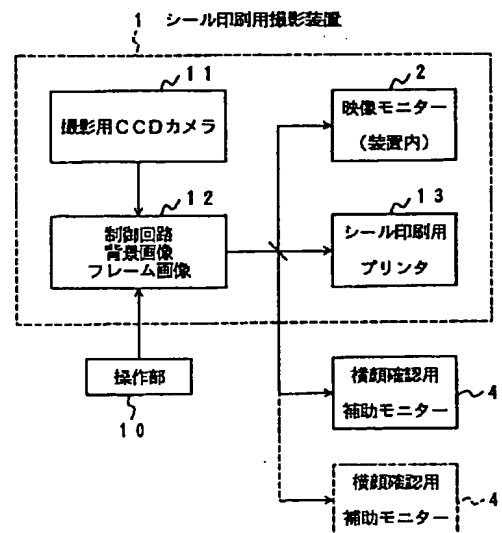
## 【符号の説明】

- 1 シール印刷用撮影装置
- 2 正面モニタ
- 3 アーム
- 4 補助モニタ
- 5 被写体（撮影者）
- 6 操作ボタン
- 7 印刷シール排出口

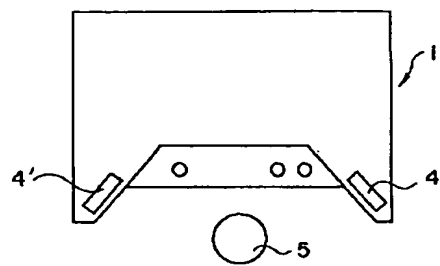
【図 2】



【図 4】



【図 5】



## 【考案の詳細な説明】

## 【0001】

## 【考案の属する技術分野】

本考案は、被写体となる撮影像をシールに印刷する装置に関する。

## 【0002】

## 【従来の技術】

近年、背景イメージと被写体となる本人の撮影肖像とを合成したものをシールに印刷するシール印刷用撮影装置が街角等に設置され、プリントクラブまたはブリクラなどと称されて愛好されている。ところで、この種シール印刷用撮影装置は、予め用意された数種類の背景イメージの中から好みのものを選択し、その背景イメージと自身の撮影肖像とのマッチングを正面モニタで確認しながら、シール印刷を行う必要がある。

## 【0003】

しかしながら、このものは背景イメージと自身の撮影顔像とのマッチングを確認する手段が正面モニタでしか行えないため、横向きの顔を撮影したいときにどうしても横目で正面モニタを確認しなければならないばかりか、横を向いた際に映像がずれたりして横顔撮影が難しく、また斜め横顔を撮影した際にも視線が合わず不自然となり、しかも、選択した背景イメージがスポーツ選手やタレントなどであったりした場合には好みのポーズでのツーショット撮影ができず、印刷されたシールの出来映えに不満が残るなどの欠点があり、結局略正面を向いた顔の撮影しかできないことから、横顔撮影が容易にできるシール印刷用撮影装置の出現が望まれていた。

## 【0004】

## 【考案が解決しようとする課題】

本考案は、上記の如き問題点を一掃すべく創案されたものであって、横向きの顔を撮影したい場合であっても、横目で正面モニタを確認することなく、どのような背景イメージであったとしても自身の正面以外の横を向いたポーズとのマッチングを直視して確認することができ、しかも、グループ撮影などで互いに向かい合った撮影や、選択した背景イメージとのマッチング撮影を正確にできるなど

種々の好みのポーズの撮影が可能となり、撮影姿勢のバリエーションを大幅に増し得るシール印刷用撮影装置を提供することを目的とする。

#### 【0005】

##### 【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために本発明が採用した技術手段は、被写体を撮影するカメラと、任意に選択された登録背景イメージと被写体となる撮影像との合成映像を所定のフレーム枠内に表示する正面モニタと、合成映像をシールに印刷するプリンタを備えたシール印刷用撮影装置において、前記正面モニタの近傍域に被写体の側面側に向く補助モニタを設け、該補助モニタを、前記正面モニタに表示された合成映像を表示せしめて被写体の横姿勢からの姿勢確認を可能に構成したことを特徴とするものである。

#### 【0006】

##### 【考案の実施の形態】

以下、本考案の実施の形態を好適な実施の形態として例示するシール印刷用撮影装置に基づいて詳細に説明する。

図1はシール印刷用撮影装置の全体斜視図、であって、該装置1には、被写体（撮影者）5を撮影するためのCCDカメラが内蔵されており、また、所定の背景イメージとなる花、風景、動物、人物等が予め登録されており、任意に配した選択ボタン6の操作で選択可能になっている。

#### 【0007】

2は正面モニタであって、該正面モニタ2は、前記予め登録された背景イメージから選択されたものと、内蔵CCDカメラによって映し出された被写体5の撮影像との合成映像を所定のフレーム枠内に表示するようになっており、この前記正面モニタ2に映し出された合成画像を任意に配した印刷実行ボタン6の操作により、内蔵されたプリンタ装置によって印刷された任意形態の印刷シールが取り出し口7に排出されるようになっている。

#### 【0008】

4は正面モニタ近傍に突設された補助モニタであって、該補助モニタ4は、左右方向回動可能なアーム3に支持されて、モニタ画面が被写体5側を向くように同じく左右方向に回動して角度調整可能に装着されており、前記正面モニタに映

し出された合成画像が表示されるようになっている。図 1 および図 2 に示す実施

の形態では、1つの補助モニタ 4 を配設したものを示しており、中央に設けられたアーム 3 を右または左の所定位置まで補助モニタ 4 を移動することで、それぞれ右顔を向いたポーズ、左顔を向いたポーズが確認できるようになっている。

#### 【 0 0 0 9 】

なお、本実施例では補助モニタ 4 の角度調整を左右方向について示したが、これに限定されるものではなく、アーム 3 を伸縮自在に構成して前後方向移動可能にすることも、上下方向に移動または首振り回動自在にして角度調整や高さ調整可能な構成にすることも任意である。また、この装置には音声案内装置も付加されている。

#### 【 0 0 1 0 】

一方、図 3 に示す他の実施の形態では、本装置 1 の左右にそれぞれ 1 個ずつ補助モニタ 4、4' を配設したものを示しており、同じくアーム 3 と補助モニタ 4 がそれぞれ回動調整可能になっている。

#### 【 0 0 1 1 】

図 4 は前記シール印刷用撮影機の構成ブロック図であり、装置 1 内には撮影用 CCD カメラ 11、背景画像、フレーム画像記憶部を含む制御回路 12、前記映像モニタ 2 及びシール印刷用プリンタ 13 が内蔵されており、外部には前記プリントボタン等を含む入力操作部 10 と、前記横顔確認用補助モニタ 4、4' が取り付けられている。そして、前記補助モニタ 4、4' は、前記制御回路 12 の制御により装置内の映像モニタ 2 の映像と同じ映像が表示されるようになっている。

#### 【 0 0 1 2 】

前述の如く構成された本発明の実施例の形態において、いま、撮影者である被写体 5 が正面モニタ 2 の前に立つと操作説明を促す音声が出力され、同時に被写体 5 が正面モニタ 2 に映し出される。撮影者はその音声説明に基づいて操作ボタン 6 の操作で予め登録された背景イメージの中から好みのものを選択して、その背景イメージと撮影者自身の被写体 5 との合成画像のマッチングを確認しながらシール印刷を行う際、正面を向いた撮影像であれば正面モニタ 2 で確認するには

従来通りの確認をすれば良いのであるが、被写体 5 が横を向いたポーズをしたときにはそのマッチングを正面モニタ 2 で行うことは難しい。

【 0 0 1 3 】

しかしながら、本発明のシール印刷用撮影装置 1 には、補助モニタ 4 が配設されており、しかも、この補助モニタ 4 は、左右方向回動可能なアーム 3 に支持されて、モニタ画面が被写体 5 側を向くように同じく左右方向に回動して角度調整可能であると共に、前記正面モニタ 2 に映し出された合成画像を表示させて被写体 5 の横姿勢からの姿勢確認が可能な構成となっていることから、撮影者 5 が横向きの顔を撮影したいときにはこの横顔確認用に増設した補助モニタ 4 で正面モニタ 2 に映し出された合成画像を確認することができるから、従来の如く横目で正面モニタ 2 を確認したり、横を向いた際に映像がずれたり、また斜め横顔を撮影した際にも視線が合わず不自然となることもなくなり、背景イメージと自身の正面以外の横を向いたポーズとのマッチングを直視して確認することができる。

【 0 0 1 4 】

しかも、例えば選択した背景イメージがスポーツ選手やタレントなどであり、好みのポーズでのツーショット撮影を行いたい場合であつたりしても、補助モニタ 4 は配設位置が調整可能となっているため、色々なポーズをとって、より確実な合成画像のマッチングを確認することができ、印刷されたシールの出来映えにも満足感を与えることができる。

【 0 0 1 5 】

さらに、図 3 に示すように補助モニタ 4、4' を左右にそれぞれ設けておけば、何れの横向き姿勢からも画像を同時に確認することができるから、例えば、グループ撮影などで互いに向かい合った撮影や、選択した背景イメージとのマッチング撮影を正確にできるなど種々の好みのポーズの撮影が可能となり、撮影姿勢のバリエーションを大幅に増し得るものである。

【 0 0 1 6 】

図 5 は他の実施の形態を示すものである。前記実施の形態では、補助モニタ 4 を装置筐体から突出させた構成となっていたが、図 5 に示すものは補助モニタ 4、4' が装置筐体の側部突設部内に收容されており、撮影者の位置に向くように

傾斜配置されている。筐体突設部の撮影者側には窓が設けられており、この窓から前記モニタを目視できるようになっている。このような装置であっても上記同様な作用、効果が得られる。

【 0 0 1 7 】

【 考 案 の 効 果 】

本考案は、被写体を撮影するカメラと、任意に選択された登録背景イメージと被写体となる撮影像との合成映像を所定のフレーム枠内に表示する正面モニタと、合成映像をシールに印刷するプリンタを備えたシール印刷用撮影装置において、前記正面モニタの近傍域に被写体の側面側に向く補助モニタを設け、該補助モニタを、前記正面モニタに表示された合成映像を表示せしめて被写体の横姿勢からの姿勢確認を可能に構成としたことから、横向きの顔を撮影したい場合であっても、横目で正面モニタを確認することなく、どのような背景イメージであったとしても自身の正面以外の横を向いたポーズとのマッチングを直視して確認することができ、しかも、グループ撮影などで互いに向かい合った撮影や、選択した背景イメージとのマッチング撮影を正確にできるなど種々の好みのポーズの撮影が可能となり、撮影姿勢のバリエーションを大幅に増し得る格別の効果を奏するものである。